

# 第 3 7 期 決 算 公 告

(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

タクトホーム株式会社

**貸借対照表**

(2020年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>98,500</b>	<b>流動負債</b>	<b>53,627</b>
現金及び預金	18,808	営業未払金	6,642
販売用不動産	21,197	短期借入金	43,108
仕掛販売用不動産	47,847	1年内返済予定の長期借入金	164
未成工事支出金	8,225	未払金	348
前渡金	637	未払費用	448
前払費用	78	未払法人税等	1,248
その他	1,706	前受金	285
		預り金	991
		賞与引当金	370
		その他の他	20
<b>固定資産</b>	<b>15,693</b>	<b>固定負債</b>	<b>12,046</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>13,245</b>	長期借入金	10,159
建物	7,904	役員退職慰労引当金	403
工具器具備品	425	退職給付引当金	815
土地	6,537	保証工事引当金	470
建設仮勘定	5	資産除去債務	39
減価償却累計額	△1,627	その他	158
<b>無形固定資産</b>	<b>107</b>	<b>負債合計</b>	<b>65,674</b>
商標権	0	<b>(純資産の部)</b>	
ソフトウェア	104	株主資本	1,429
電話加入権	2	資本金	
		資本剰余金	1,493
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,341</b>	資本準備金	1,493
投資有価証券	177	資本剰余金合計	1,493
関係会社株式	158	利益剰余金	41
関係会社出資金	102	利益準備金	41
長期前払費用	7	その他利益剰余金	45,550
繰延税金資産	981	繰越利益剰余金	45,550
その他	914	利益剰余金合計	45,591
		株主資本合計	48,513
		評価・換算差額等	
		その他有価証券評価差額金	7
		評価・換算差額等合計	7
		<b>純資産合計</b>	<b>48,520</b>
<b>資産合計</b>	<b>114,194</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>114,194</b>

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 株主資本等変動計算書

（ 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで ）

（単位：百万円）

	株 主 資 本						株 主 資 本 計 合
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		株 主 資 本 計 合	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
2019年4月1日残高	1,429	1,493	1,493	41	44,871	44,912	47,834
当事業年度中の変動額							
剰余金の配当					△ 3,886	△ 3,886	△ 3,886
当期純利益					4,565	4,565	4,565
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額（純額）							
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	678	678	678
2020年3月31日残高	1,429	1,493	1,493	41	45,550	45,591	48,513

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
2019年4月1日残高	18	18	47,853
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△ 3,886
当期純利益			4,565
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額（純額）	△ 11	△ 11	△ 11
当事業年度中の変動額合計	△ 11	△ 11	666
2020年3月31日残高	7	7	48,520

（注） 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1)資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

##### イ.子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

##### ロ.その他有価証券

##### ・時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

##### ・時価のないもの

移動平均法による原価法

##### ② たな卸資産の評価基準及び評価方法

##### ・販売用不動産、仕掛販売用不動産及び未成工事支出金：

個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

#### (2)固定資産の減価償却の方法

##### 有形固定資産

##### (リース資産を除く)

定率法によっております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数については次のとおりであります。

建物 7～50年

工具器具備品 2～20年

##### 無形固定資産

##### (リース資産を除く)

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

#### (3)引当金の計上基準

##### イ.賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

##### ロ.役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度における支給見込額に基づき計上しております。

##### ハ.退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

##### ① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定基準によっております。

##### ② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、その発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

##### ニ.役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく事業年度末要支給額を計上しております。

なお、当社は平成28年3月31日付で役員退職慰労金制度を廃止しており、当事業年度末の役員退職慰労引当金残高は、制度廃止時に在任していた役員に対する当社所定の基準による打ち切り支給予定額であり、支給時期はそれぞれの役員の退任時としております。

##### ホ.保証工事引当金

保証工事に係る費用に備えるため、過去の実績を基礎として算出した見積額を対象物件の販売時に計上しております。

(4)消費税等の会計処理

税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、固定資産に係るものは投資その他の資産の「その他」に計上し5年間で均等償却を行っており、それ以外は発生年度の期間費用としております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1)土地仕入資金の効率的な調達を目的として、取引銀行16行及び親会社と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

当座貸越極度額	60,100百万円
借入実行残高	40,774百万円
差引	19,325百万円

(2)関係会社に対する金銭債権、債務は次のとおりであります。

短期金銭債権	654百万円
短期金銭債務	9,177百万円
長期金銭債権	55百万円
長期金銭債務	10,323百万円

(3)関係会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

ティーア라운드株式会社	1,452百万円
-------------	----------

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高 108百万円

仕入高並びに販売費及び一般管理費 2,545百万円

営業取引以外の取引による取引高 93百万円

#### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

##### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数(株)	当事業年度増加株式数(株)	当事業年度減少株式数(株)	当事業年度末の株式数(株)
普通株式	231,892株	－株	－株	231,892株

##### (2) 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数(株)	当事業年度増加株式数(株)	当事業年度減少株式数(株)	当事業年度末の株式数(株)
普通株式	－	－	－	－

##### (3) 剰余金の配当に関する事項

###### 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年3月23日 臨時株主総会	普通株式	3,886	16,760	2020年3月23日	2020年3月24日

#### 5. 税効果会計に関する注記

##### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

###### 繰延税金資産

未払事業税	67 百万円
賞与引当金	113 百万円
退職給付引当金	249 百万円
役員退職慰労引当金	123 百万円
保証工事引当金	144 百万円
その他	286 百万円
繰延税金資産小計	984 百万円
評価性引当額	－ 百万円
繰延税金資産合計	984 百万円

###### 繰延税金負債

その他有価証券評価差額金	△3 百万円
繰延税金負債合計	△3 百万円
繰延税金資産の純額	981 百万円

#### 6. 金融商品に関する注記

##### (1) 金融商品の状況に関する事項

###### ① 金融商品に対する取組方針

設備投資計画に照らして、必要な資金を調達（主に銀行借入）しております。一時的な余資は主に流動性の高い金融資産で運用し、また、短期的な運転資金を銀行借入により調達しております。デリバティブは、その必要性の有無によるものの、投機的な取引は行わない方針です。

###### ② 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク

投資有価証券は、主に業務上の関係を有する企業の株式及び債券であり、市場価格の変動リスクに晒されております。

営業債務である営業未払金は、そのほとんどが2ヶ月以内に支払期日が到来するものであります。

短期借入金は主に運転資金に必要な資金の調達を目的としたものであり、金利の変動リスクに晒されております。

③ 金融商品に係るリスク管理体制

イ. 市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に時価や発行体（取引先企業等）の財務状況等を把握し、市況や取引先企業との関係を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

ロ. 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

各部署からの報告に基づき担当部署が適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金及び預金	18,808	18,808	—
(2) 投資有価証券 その他有価証券	87	87	—
資産計	18,895	18,895	—
(1) 営業未払金	6,642	6,642	—
(2) 短期借入金	43,108	43,108	—
(3) 1年内返済予定長期借入金	164	164	0
(4) 未払法人税等	1,248	1,248	—
(5) 長期借入金	10,159	10,243	84
負債計	61,321	61,406	84

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 投資有価証券

これらの時価について、株式等は取引所の価格によっており、債券は取引所価格又は取引金融機関等から提示された価格によっております。

負債

(1) 営業未払金、(2) 短期借入金、(4) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 1年内返済予定長期借入金、(5) 長期借入金

借入金の時価は、元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値によって算定しております。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額
その他有価証券(非上場株式)	90 百万円
関係会社株式	158
出資金	0
関係会社出資金	102
合計	351 百万円

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表に含めておりません。

3. その他有価証券

	種類	貸借対照表計上額(百万円)	取得原価(百万円)	差額(百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	(1) 株式	87	77	10
	小計	87	77	10
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	(1) 株式	—	—	—
	小計	—	—	—
合計		87	77	10

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 90百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表に含めておりません。

4. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

	1年以内(百万円)	1年超5年以内(百万円)	5年超10年以内(百万円)	10年超(百万円)
現金及び預金	18,808	—	—	—
合計	18,808	—	—	—

7. 賃貸等不動産に関する注記

(1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、東京都その他の地域において、賃貸用のオフィスビル（土地を含む。）を有しております。

(2) 賃貸等不動産の時価に関する事項

貸借対照表上計上額 (百万円)	時価 (百万円)
5,631	5,387

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。  
2. 当事業年度末の時価は、主要な物件については社外の不動産鑑定士による不動産鑑定評価等に基づく金額、その他の物件については、適切に市場価格を反映していると考えられる指標を用いて調整した金額をもって時価としております。

## 8. 関連当事者との取引に関する注記

### (1)親会社

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	飯田グループホールディングス(株)	(被所有)直接100.0%	役員兼任	資金の借入	3,968	短期借入金	7,000
				資金の返済	3,000	長期借入金	10,323
				利息の支払	80	—	—
				—	—	未払金	128

(注) 1. 資金の借入については、市場金利等を勘案した利率にて行われております。

### (2)子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
関連会社	住宅新興事業(協)	(所有)直接25.0	資金の借入 役員兼任	借入利息の支払	1	—	—
				転貸手数料の支払	3	未払費用	0
				資金の借入	2,188	短期借入金	1,802

(注) 1. 資金の借入については、株式会社商工組合中央金庫からの転貸資金として調達しております。利率は市場金利等を勘案して合理的に決定しており、返済条件は期間1年未満、一括返済としております。

2. 株式会社商工組合中央金庫から転貸資金の借入を行う場合、組合の事務負担等を勘案し、組合に対し年率0.1%の転貸手数料を支払っております。

### (3)役員及び個人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等	ファーストプラス(株) (注1、2)	-	営業上の取引	システムキッチン等の購入 (注3)	348	営業金 未払金	58
親会社役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等	ダイヤロン(株) (注4)	-	営業上の取引	畳等の購入 (注3)	18	営業金 未払金	2

(注) 1. 当期中において、当社親会社の近親者が議決権の過半数を間接所有しておりました。

2. 当社親会社は2019年10月1日付でファーストプラス(株)の全株式を取得し、同社を子会社としております。取引金額は2019年4月1日から2019年9月30日までの期間の取引を、期末残高並びに議決権等の所有割合は2019年9月30日時点の内容を記載しております。

3. 取引条件及び取引条件の決定方針については、市場価格等を参考に決定しております。

4. ダイヤロン(株)の議決権については、当社親会社の役員近親者が過半数を間接所有しております。

9. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	209,237円59銭
(2) 1株当たり当期純利益	19,686円83銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

11. その他の注記

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、景気の先行きは極度に不透明な状況ですが、当事業年度末で入手可能な情報に基づき、翌事業年度においても影響が継続するものと仮定して、棚卸資産の正味実現可能価額の見積りを行っております。